

「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(表面)

評価者

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
I-1	安全で良質な水の供給	(案)貯水槽水道実態調査など各取組で一定の成果が出ている。引き続き水質監視システム体制の適切な維持に努め、水源から給水栓までの水質管理を徹底するとともに、関係機関と連携して水源地の適正な維持管理を行い、安全性の確保に向けた取組が行われることを期待する。	
I-2	水道施設の更新・耐震化	(案)施設の更新、及び施設や管路の耐震化など、各取組で一定の成果が出ている。災害時にも安定した水の供給ができるよう、経年管の計画的な更新が推進されることを期待する。	
I-3	漏水対策の推進	(案)計画的な漏水調査に基づく早期の修繕により、漏水対策に一定の成果が出ている。引き続き限りある水資源の有効利用と事業効率の向上のため、効果的な漏水対策を推進されることを期待する。	
I-4	鉛給水管の解消	(案)早期の工事発注により、鉛給水管の解消について一定の成果が出ている。引き続き鉛給水管を使用している世帯に注意喚起を行うとともに、計画的に工事を実施し、鉛給水管の解消率の向上に取り組まれることを期待する。	
I-5	給水装置の適正な管理	(案)指定給水装置工事事業者の更新事務など、各取組で一定の成果が出ている。指定給水装置工事事業者の講習会の開催方法と内容について引き続き検討し、事業者の技術等の向上を図られることを期待する。	

※裏面に続きます。

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

本書をご提出ください。

「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(裏面)

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
I-6	工業用水道施設の更新・耐震化	(案)電気機械設備の更新など、一定の成果が出ている。引き続き計画に基づいた施設の更新や耐震化を推進されることを期待する。	
II-1	公共下水道処理施設・管路の老朽化対策	(案)重要路線内の老朽下水道管きよの改善など、一定の成果が出ている。引き続き第2期ストックマネジメント計画に基づき、公共下水道施設の点検や調査を実施し、計画の見直しを図りながら施設や管路の老朽化対策に取り組まれることを期待する。	
II-2	浸入水対策の推進	(案)対策対象地域の優先順位を設定し、見直しをするなど、一定の成果が出ている。引き続き選定したモデル地区の対策効果検証やスクリーニング調査による結果を基に汚水処理施設の浸入水対策計画の策定を検討されることを期待する。	
II-3	公共下水道処理施設・管路の耐震化	(案)処理場やポンプ場の耐震対策工事の実施など、各取組で一定の成果が出ている。引き続き宮崎市下水道総合地震対策計画に基づき、公共下水道処理施設・管路の効果的かつ計画的な耐震化・耐津波化を推進されることを期待する。	
II-4	浸水対策の推進	(案)排水路整備工事の実施など取組の成果が出ている。引き続き河川・道路の管理者と連携し、豪雨等により浸水被害が発生する地域における有効な浸水被害軽減対策に一層取り組まれることを期待する。	
II-5	農業集落排水施設の老朽化対策	(案)農業集落排水施設最適整備構想・再編計画の策定など一定の成果が出ている。引き続き国庫補助制度を活用し、農業集落排水処理施設の計画的な老朽化対策に取り組まれることを期待する。	

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

本書をご提出ください。

「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(表面)

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
Ⅲ-1	環境負荷の低減と資源循環利用の促進	(案)温室効果ガスの排出量の削減など各取組で一定の成果が出ている。引き続き汚水処理の過程で発生した資源の有効利用・活用を促進するとともに、「てげいい土」の売り上げを向上させるため広報活動や販売方法を検討されることを期待する。	
Ⅲ-2	環境保全の推進	(案)大淀川流域自治体や関係各課と連携して河川浄化啓発活動を実施するなど、一定の成果が出ている。引き続き下水処理場の放流水の水質管理の徹底や河川浄化啓発活動の実施、及び水環境保全活動のきっかけ作りや環境整備に向けた取組に期待する。	
Ⅳ-1	危機管理対策の推進	(案)給水拠点の整備や災害対応資機材の購入など各取組において一定の成果が出ている。引き続き定期的に災害時の協力組織体制や対策を確認するとともに、給水拠点の配備や災害用資機材の維持管理を行い、危機管理対策の充実に取り組まれることを期待する。	
Ⅳ-2	人材育成と技術継承の推進	(案)職員研修の実施など一定の成果が出ている。引き続き上下水道局職員の育成と蓄積技術の継承のため、通信機器を活用したりリモート研修など、コロナ禍における研修方法について検討し、研修機会の提供に努められることを期待する。	
Ⅳ-3	広域化等の推進	(案)汚水処理の広域化・共同化においては一定の成果が出ている。引き続き水道事業の広域化については、県水道広域化推進プランについて情報収集を行い、県内市町村の状況把握に努められることを期待する。また、汚水処理の共同化については、し尿処理施設の処理方法や施設規模、及び維持管理計画等を検討されることを期待する。	

※裏面に続きます。

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

本書をご提出ください。

「みやぎ水ビジョン2020」施策評価用紙(裏面)

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
IV-4	官民連携の推進	(案)委託業務の見直しなど各取組で一定の成果が出ている。今後も他の事業体の動向について情報収集に努め、包括的民間委託の導入や官民連携事業の実施などについて検討されることを期待する。	
IV-5	経営基盤の強化	(案)各取組で一定の成果が出ている。引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、施策評価調書により、「みやぎ水ビジョン2020」と「経営戦略」の一体的な進捗管理を行い、各実施方策を推進するとともに、効率的な収納体制の確立や未利用財産の有効活用など経営の効率化に取り組まれることを期待する。	
V-1	ICT・IoTの推進	(案)クラウド型の水道施設台帳システムの導入など各取組で一定の成果が出ている。引き続き利用者の利便性向上のため、キャッシュレス決済の拡充について検討するとともに、他都市の状況を参考にICTを活用した業務の効率化に期待する。	
V-2	広報活動の充実	(案)広報紙の発行など各取組で一定の成果が出ている。引き続き水道週間、下水道の日の作品募集を実施するとともに、お客さまの視点に立った広報紙作りやSNS等の活用などにより一層広報活動の充実に取り組まれることを期待する。	
V-3	お客さまサービスの向上	(案)一部の取組で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたが、料金センター業務の委託契約の締結など各取組で一定の成果が出ている。引き続きお客さまアンケートやSNSを活用してお客さまのニーズの把握に努めるとともに、施設見学や出前講座の実施方法について検討し、上下水道事業を積極的にPRする取組を期待する。	

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

本書をご提出ください。